

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

野口観光グループ50周年記念寄贈本

△一般▽北海道農業教育の軌跡「北の大地に挑む」(北海道協同組合通信社)▽物忘れ・認知症にならない60歳からの脳トレ「昭和思い出しテスト」(忘れ現象を防ぐ会)▽震災ビツクデータ(NHK出版)▽世界の奇妙な生き物図鑑(サー・ビルキントン・スマイズ)▽世界で一番美しい名画の解剖図鑑(カレン・ホサック・ジャネス／イアン・シルヴァーズ／イアン・ザクチェフ)▽枕を変える和健康になる！(山田朱織)

■みずうみ読書の家

△一般▽満顔(米澤穂信)▽白鶴ノ紅／たそがれ歌麿(佐伯泰英)▽後妻業(黒川博行)▽土漠の花(月村了衛)▽あかりの湖畔(青山七恵)▽ペトロ(今野敏)▽ある昭和の家族(笠耐)▽千春の婚礼(平岩ヨリ)

今月の1冊



「雪の上のなぞのあしあと」

あべ弘士さく

動物園の飼育員さんの宿直の夜におこったなぞのあしあとの発見！いったい、そのあしあとのぬしは？ドキドキワクワク。ミステリー仕立ての絵本です。



枝)▽影踏みの鬼(葉室麟)▽雪炎(馳星周)▽限界集落株式会社(黒野伸二)▽オウリイと呼ばれたところ(佐藤さとる)▽日本国最後の帰還兵(深谷義治・深谷敏雄)▽沈みゆく大國アメリカ(堤未果)▽おとなの教養(池上彰)▽昆虫はすごい(丸山宗利)▽僕が旭山動物園で出会った動物たち(小菅正夫)▽そのサラダ油が脳と体を壊している／認知症が嫌なら「油」を変えよう(山嶋哲盛)▽脳の強書(加藤俊徳)▽折り紙絵本(高野紀子)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽女の腰痛はこんなに楽に完治する…予約7年待ちのゴッドハンド(酒井慎太郎)▽日本の色の十二カ月(吉岡幸雄)▽イザベラ・バードの旅の世界 ツイン・トラベル(金坂清則)

●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●3月休館日

12日・19日・21日・26日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎76・2100

みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】

二月定例会

澄みわたる冬の空を見上げつつ

いのち確かと白き息吐く

息子のきざむ野菜の音がさくさくと

杖にたよれる身にいたくしむ

温くもれる日ざしが差せばクロッカス

二月と知らずに顔を出したり

立春もすぎしといふのに日中も

身を切るような風雪つづく

ストーブの音を聞きつつ愛犬が

私の腕にうたたねしをり

俳句

【あぶた俳句会】

二月定例会

日脚伸ぶ巡回バスは笑み乗せて

日脚伸ぶロードマップを出して見る

凍道にあはやの Pantマイムかな

足裏にしつかと掴む寒の路

頬被り男おんなか聞き分ける

本棚に牛歩のごとく日脚伸ぶ

一頁読み終へるほど日脚伸ぶ

大西 芳子

山木 孝

北島 加代

太田 智

元田 フジ子

菅原 敏子

三瓶 修

矢野 知子

那須 伶子

小笠原 勇

千葉 征子

佐藤 美風